

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成果報告書

2023 年 7 月 10 日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 医学研究科人間健康科学系専攻

職名・学年 博士課程1年

氏 名 向井 飛雄

助成の種類	令和5年度・国際研究集会発表助成			
研究集会名	The 28th Annual Congress of the European College of Sport Science.			
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input type="checkbox"/> 口頭 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他( )			
発表題目	Regional difference in muscle elongation to compression during stretching.			
開催場所	フランス・パリ			
渡航期間	2023年 7 月 2 日 ~ 2023 年 7 月 9 日			
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )			
会計報告	交付を受けた助成金額	350,000 円		
	使用した助成金額	350,000 円		
	返納すべき助成金額	0 円		
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金 額 (円)	
		航空運賃	222,372	
		宿泊費	82,105	
		滞在費	0	
学会参加費		45,523		
その他	0			
以上に助成金を充当				
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 貴財団の助成により、私費負担が少なくなり、安心して学会に臨めましたことに感謝申し上げます。もう少し採択決定時期が早くなりますと、嬉しく思います。			

## 成果の概要／向井飛雄

所属：医学研究科人間健康科学系専攻 博士課程 1 年

参加した学会：The 28th Annual Congress of the European College of Sport Science. (第 28 回ヨーロッパスポーツ科学学会年次大会)

開催期間：2023/07/03~2023/07/07

開催場所：フランス・パリ

今回参加した European College of Sport Science は、毎年ヨーロッパだけでなく、世界の約 80 か国から約 3000 名程度の研究者が集結する学会である。本学術集会では、運動学、生理学、スポーツ心理学、スポーツ医学など幅広い研究テーマが扱われており、普段のゼミでは触れることが少ない分野の研究方法について学ぶことができた。

今回我々は、Regional difference in muscle elongation to compression during stretching. というテーマでポスター発表を行った。筋の柔軟性を向上させるために、臨床現場では、ストレッチングや徒手的な圧迫刺激が使用されることが多い。しかし、ストレッチング中に圧迫刺激を使用した際、ストレッチングのみと比較して、筋の伸長量が変化するか検討した先行研究はない。したがって、本研究では、ストレッチング中に圧迫刺激を行った際の筋伸長変化を検討した。その結果、ストレッチング中の筋を圧迫することで、圧迫箇所の近位（膝に近い側）で筋がより伸長し、遠位（踵に近い側）ではむしろ弛緩することが明らかになった。臨床現場において、筋が硬くなっている箇所を圧迫すると、圧迫箇所に疼痛を訴える患者さんがいる。本研究の結果を踏まえると、硬い箇所の遠位を圧迫することで、該当箇所を痛みなく伸長することができるため、本研究は臨床的に有用であるといえる。

このポスター発表において、座長を務めていたイギリスの Bill Baltzopoulos 教授（John Moores 大学）から何点か質問があった。それらの質問に対して的確に回答し、同教授からお褒めの言葉をいただいた。同時に私自身の研究をより良いものにするためのアドバイスをいただいた。また、オーディエンスからも質問があったので、それについても的確に回答することができた。

他の参加者の発表には積極的に足を運び、知識の吸収に努めた。特に自身の研究内容と関連している超音波による筋腱複合体の評価を行っている研究者の発表を網羅的に聞くことができた。また、ストレッチングに関する研究を行っている台湾の Tsun-Shun Huang 氏（陽明物理治療補助科技交大）に英語で質問することができた。以上のような積極的な交流によって、自身の今後の研究生活に役立つ学びを得ることができた。